



長崎県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L https://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」 ～ 同友会の学びで時代の変化をチャンスに! ～



代表理事
金井政春

謹賀新年

会員の皆様におかれましては、令和初の新年を輝かしい希望に満ち溢れた思いを胸に、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、常日頃から同友会活動、運動にご尽力いただき心より感謝申し上げます。今年も「私たち中小企業家が長崎を牽引していく!」のスローガンのもと高い次元での企業づくり、地域づくり、同友会づくりに努めましょう。

昨年は喜ばしいこととして令和元年の記念すべき年に、毎年7月を「中小企業魅力発信月間」とし、7月20日を「中小企業の日」として制定されました。中小企業家同友会が2010年6月の中小企業憲章閣議決定以来、毎年6月を中小企業憲章・条例推進月間として運動を進めてきた一つの大きな成果だと思えます。長崎同友会としましても本年7月には何らかの新たな活動・運動に着手しなければならないと考えます。

昨年の新たな取り組みとしては、長崎では30年振りの全国大会となる中小企業問題全国研究集

会が開催され、10月の経営フォーラムが諫早国立青少年自然の家で諫早支部の会員さんの多大なご尽力により開催されました。自然の家でのフォーラム開催は全国初のことで新たな1ページを刻むことができました。今年も長崎同友会に新たな1ページを刻むことができる活動にチャレンジできればと思います。そのためにも同友会理念の学びを深め共有することに努め、同友会活動を通じて会員の経営者としての人間性の向上と経営力強化につながる長崎同友会の活動・運動を目指しましょう。

皆さんもご承知のとおり人口減少、超高齢化社会の到来、市場規模の縮小、労働力不足、働き方改革等による生産性の低下、賃金の上昇、法人税等の負担増等々中小企業にとっては厳しい経営環境が続くことが考えられます。

このような厳しい経営環境が予測される時代だからこそ同友会です。支部活動の充実を図り気軽に相談できる環境を整え、一人で悩む会員をなくし、会員同士が高い信頼のもと支え合える長崎同友会をつくりあげましょう。

本年が会員の皆様にとって輝かしい1年となる事を心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

目次

代表理事新年挨拶	1	会員活躍	12
各界からの提言	2	事務局企業訪問	14
12月例会報告	3	新入会員紹介	15
第8回九州・沖縄ブロック事務局研修交流会 参加報告	9	理事会報告	16
長崎出島支部 ダイバーシティ委員会 LGBT勉強会 開催報告	11	会員動向・会員数	17
(株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告	11	2月例会案内	18

各界からの提言

長崎県 産業労働部 部長 廣田 義美



プロフィール

- ・生年月日：昭和37年3月16日
- ・昭和55年4月 入庁
- ・平成23年4月 総務部新行政推進室長
- ・平成25年7月 企画振興部政策企画課長
- ・平成26年4月 総務部人事課長
- ・平成28年4月 五島振興局長
- ・平成30年4月 企画振興部政策監
- ・平成31年4月 産業労働部長

新年おめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県の産業労働行政に対しましてご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

長崎県中小企業家同友会におかれましては、様々な業種の中小企業経営者の方々から学びあう自主的な組織として、会員企業の発展、地域の活性化のための例会などを通して、情報の共有や経営革新の推進、行政機関との意見交換会の開催など、積極的な活動を推進していただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

本県は、人口減少・高齢化の進行や若年層の県外流出など厳しい課題に直面しており、こうした課題の解決を図り、将来にわたって持続的に発展していくためには、本県の強みを最大限に活かしつつ、産業振興施策や雇用対策等の一層の強化を図り、活力あるたくましい長崎県を作り上げていくことが重要であります。

このため、県では、産業振興に関して「ながさき産業振興プラン」のもと、県内企業の生産性・付加価値の向上や事業拡大に向けて、産業支援機関等と連携強化を図りながら、力強い産業の育成に取り組んでおります。

また、雇用対策に関しては、「Nなび」を活用した人材の県内就職促進、福岡市内に開設した「ながさきUIターン就職支援センター」の活用、「Nぴか」認証制度の促進による働きやすい魅力ある職場づくりの推進、産学官連携による産業人材の育成などに注力し、「ひと」と「しごと」の好循環の実現を目指してまいります。

皆様方におかれましても、中小企業家同友会の学びの活動を通して得られた知識や経験、経営姿勢などを生かしながら、事業拡大や付加価値の向上などに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

県としましても、引き続き、県内中小企業・小規模企業の振興に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

長崎浦上・出島支部 合同例会報告

日 時	12月17日(火) 18:30～21:00
会 場	サンプリエール
内 容	合同忘年例会



今年も長崎浦上支部、長崎出島支部合同で忘年例会を行いました。

まず、長崎市中小企業振興基本条例策定プロジェクトのリーダーである吉澤さんから進捗状況について報告がありました。市議会を傍聴したり等、政策委員の方々が制定に向けて動いています。

そしてダイヤモンドクラブ会員によるパネルディスカッションがありました。会歴20年以上の金子寛道さん、松本実文さん、泉健彦さん、城尾忠明さんをパ



ネラーに迎え、中村こずえさんがコーディネーターをされました。同友会の歴史や会員数の推移、魅力を話していただきました。パネラーの皆さんの話の中にキーワードとして青年経営者会が出てきました。いつの時代も若い会員が同友会活動を盛り上げており、これからも若い会員が中小企業の新時代を築いていってほしいと熱弁されておりました。

懇親会ではじゃんけん大会があり、1位は年末ジャンボ宝くじ100枚の総取り、2位～11位まで各支部が用意した賞品がありました。ベテランの品川さんが司会をされ、盛り上げていました。

今年もたくさんの会員に参加していただきました。会歴の長い先輩会員の参加が多かったのが嬉しく、また新しい会員も増えてきました。今年一年の終わりを締めくくる素敵な例会になったと思います。

(文責 長崎浦上支部 橋本 裕次郎)



今年も12月例会を長崎浦上支部との合同忘年例会として開催しました。両支部の交流を深め、共に学ぶことで会の発展、会社の発展に繋げていけるのではないかと企画しました。

例会の中では長崎市中小企業振興基本条例策定プロジェクトの進捗状況や、思いをリーダーの吉澤さんから熱く語っていただき、なぜ必要なのかを感じることができました。

また、パネルディスカッションではダイヤモンドクラブの金子さん、城尾さん、泉さん、松本さんにご登壇いただき、コーディネーターに中村副代表理事を迎え、同友会の歴史や必要性を熱く討論していただきました。

同友会が発足した時の話や、青年経営者会が発足し

た時の話、今後青年経営者会に期待する声、現在の状況への思い、などは参加した会員の心に残ったことと思います。

後半は懇親会を行い両支部の懇親を図り、会員同士の繋がりをより深めることができましたと思います。

また、来期の経営フォーラムへの参加促進を安井実行委員長より行っていただきました。最後は長崎浦上支部長の西村さんの挨拶及び三本締めで例会を締め括りました。



(文責 長崎出島支部 本多 邦暁)

大村支部 例会報告

日 時	12月19日(木) 18:30～21:00
会 場	プラットおおむら
テ ー マ	私の事業紹介 拡大版
報 告 者	フィーランド(株) 野島 亘宇 氏(ゲスト) AIG 損害保険(株) ICA 社員 岩永 貴彦 会員 (有) 県央リサイクル開発 代表取締役 梅本 昌秀 会員 (株) 体育健康一三堂 代表取締役 高倉 太郎 会員 (株) グリーンテック九州 取締役 出口 安紀 会員 とくだコンサルティング 代表者 得田 稔 会員 ミュージックバー TORI-K 代表者 鳥山 哲郎 会員 (株) 藤本石工 藤本 力 会員 (株) 本澤崇設計事務所 代表取締役 本澤 崇 会員 (有) 山本設備工業 代表取締役 山本 進 会員



今年5月から例会報告の冒頭に所属会員の事業を知り、相互理解・相互交流を目的として開始した「私の事業紹介」。好評につき今回は拡大版として10名の報告者を招いて実施しました。

10名の報告者のなかには今年初めて例会に参加し



たという会員さんもいて例会参加のきっかけになったということでした。

報告では1人持ち時間5分で自らの事業を語るというスタイルで、事業のコンセプトや強みを語っていただき参加者からは様々な点で新たな発見があったという声が多く聞かれました。

ディスカッションでは報告者もディスカッションに参加して「現在抱えている悩み・課題の解決策をディスカッションしてください」というテーマで行い、悩みを共有して様々な解決策がディスカッションされたようです。

グループ発表では再び報告者が発表者として登場しアドバイスを受けた解決策を発表。なかには「解決策が見つかりました!」と力強く発表した報告者もいました。

初めての試みでしたが、終始和やかな雰囲気で行われ会員同士の理解がより深まる例会となりました。

(文責 徳田 義彦)

＼ 資金繰りの心配から解放を! ／

ダイレクト・レスポンスマーケティングを導入し、貴社の売上拡大をお手伝いします。
令和2年2月1日より新事業(サービス)を開始します。詳細は下記HPでご確認下さい。(1月末日公開予定)

<https://www.tkcfn.com/fukui>

福井義憲税理士事務所

検索

福井義憲税理士事務所 税理士 福井 義憲

福井 義憲 会員(長崎出島支部)

諫早支部 例会報告

日 時	12月19日(木) 18:30～21:00
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	忘年例会：諫早支部の今年を振り返って ～各委員会活動等良かったこと・悪かったこと～
報 告 者	(株)上園商事 代表取締役 上園 明彦 会員 長崎海産(株) 代表取締役 三宅 ちはる 会員 スナックann 代表者 岩永 明子 会員 ライフナビパートナーズ(株) ライフナビゲーター 廣瀬 一孝 会員



今期の新入会員による同友会で学んだことを報告していただきました。4名共に異業種交流の楽しさと異業種経営者の生の声が聞ける新鮮さがとても良いということと、今回入会して経営指針を作成できたなどの意見もあり同友会での活発な活動内容を聞くことができた報告でした。

ディスカッションでは今年の良かったこと、悪かったこと、来年へ向けての抱負を委員会ごとに話し合い



発表しました。やはりほとんどの委員会は経営フォーラム in いさはやの大成功の件でした。諫早支部の団結力が発揮できたなどの意見が出ていました。悪かったことはあまりなく、フォーラムのことで頭がいっぱいで委員会開催を忘れたとかフォーラム打合せ後の飲食が増え太ったなど意見が出ていました(笑)。

来年への抱負では諫早支部の団結力を生かし今までにない楽しいイベントや、新しいことへの挑戦をしたなどの意見が出て、来年の諫早の支部活動が楽しみだと思った例会でした。

例会が終わった後は諫早支部忘年会が始まり、わいわい、がやがやの諫早支部らしい楽しい忘年会で締めくくりました。

(文責 山崎 三郎)

島原支部 例会報告

日 時	12月20日(金) 18:30～20:30
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	クリスマス会&忘年会 ～家族に感謝～

島原支部12月例会は、忘年例会を企画し、今回は初めて家族にも参加してもらい、開催しました。日頃より同友会活動を理解し、支えていただいている会員家族の皆様、より同友会を理解していただき今後も支援いただけるよう感謝の気持ちをこめて企画しました。

中小企業の経営において家族の協力と理解なくしては会社の成長はないし、また、同友会活動に専念できるのも家族の支えあってのことだと感じております。

今回の忘年例会は、支部会員各社より多数の豪華賞



品の協賛もいただき、ビンゴゲームを行い、それぞれ各社の自慢の商品を手にし大変賑やかに進行することができました。また、普段の例会とは違った雰囲気のある例会ではありましたが、共に活動する仲間が存在、共に成長することを目指す経営者たち、また、その家族



が交流を持つことにより、家族の理解、協力が相乗的に上がることを感じました。地域の企業経営者の集まりである支部活動がますます活発になっていくことで地域が活性化し、魅力ある会をつくることにより会員の増強にもつながると思います。家族からも応援され



る会となるのが、地域に根差した同友会となるための大前提だと思います。今年最後の例会でしたが、来年に向けて勢いづく賑やかな例会となりました。

(文責 北浦 雄一)

佐世保支部 例会報告

日 時	12月17日(火) 19:00～21:00
会 場	セントラルホテル佐世保
テ ー マ	「やってみること」の大切さ
報 告 者	着付け教室 はるいろ。 代表者 力武 貴子会員



今回は入会されて1年目の力武さんによる報告でした。ちょうど半年前佐世保支部の例会で私と同じグループになり、私がグループ長、力武さんが発表者でした。彼女は日頃よりできれば発表したくない人、どちらかと言えば控えめで和美人なのですが、大変失礼とは思いますが、当時はまだ輝きはあまり感じられませんでした。

グループ討論でその時決めたのは発表をしたくないと思っている力武さんに、このグループは全員で割れんばかりの拍手をしようと決めたのです。結果はどのグループよりも一番輝く発表をしていただきました。

そして拍手の嵐でした。まさに力武さんの人生が開花した瞬間でした。今回の報告には、着物姿の美人さんが十人ほど応援に駆けつけてくださいました。力武さんの着付けの教室の生徒さんです。応援したくなる

人間の魅力がそうさせるのです。発表は着物文化を広めていきたいというものでしたが、一番は力武さんの人間性が良く分かる報告でした。着物を習うきっかけは地元情報誌に浴衣を着た中国人が載っていたからです。力武さんは日本人なのに自分で自分の国の民族衣装が着れないのはおかしいと思い、大村にあるきものショップの古々屋で三年間習い続け、師範の免状もとり、今佐世保で「着付け教室はるいろ。」を運営されています。

報告が終わり帯の締め方の実習をされました。さすが、師範でした。バックミュージックは情熱大陸の音楽が流れまさに力武さんが着物文化を届けに世界に向けて発信しているようでした。



経営理念は「和をつなぎみんなが笑顔になれる場所」です。全ての報告・実演が終わったら会場の皆さんがスタンディングオベーションで割れんばかりの拍手の嵐、彼女の人間力にファンが増えました、当日は

他支部より参加されました会員さんから、二支部でオファーをいただきました。今後は長崎同友会の皆様の心をきっと驚づかみにされることでしょう。

(文責 江口 陽一)

北松浦支部 例会報告

日 時	12月17日(火) 18:30～20:30
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	リスク管理術
報 告 者	行政書士 松永千登勢事務所 松永 千登勢 氏



松浦市役所を中途退職し、地元の中小企業家を元気づけるため、事務所を立ち上げられた松永氏より、自らが経験した自然災害とそこから波及、直面する地元住人、企業の苦悩。立ち上がるための術や、いまやるべき備えについて報告いただきました。

同氏は、松浦市役所退職後、2018年1月より岡山県のよろず支援拠点コーディネーターとして活躍。そのため西日本豪雨災害発生時に被災地支援を経験されました。

当時の倉敷市の中小企業の状況は、河川決壊から車両の水没、パソコン等機材や決算資料等重要書類の水没、衛生上の問題より早急な処分・処理、復興のための補助金申請に追われる毎日。

そこで学んだこととして、被害状況の記録(証拠写真)、資産台帳の整備や初動体制のルール化と共有化がいかに有効であるか。激甚災害認定時の中小企業支援施策の具体的内容と認定額要件について説明がありました。

BCP策定企業の取り組みとして、専門のコンサルを使い莫大な費用と時間を費やし膨大な資料で構成された計画書も企業内で共有化がされてなければ意味をなさず、逆に年に数回反復的に社員が集う場で、模造紙に対応段取りを書き出し共有化した企業が完全復旧までスムーズに運んだ事例は印象的でした。

グループディスカッションテーマは「あなたの会社



のリスク管理は大丈夫ですか?」

報告内容と照らし合わせると、改善すべきこと、直ちに改善、取り入れるべきこと、または積極的な活動で模範となるような取り組み等活発な意見交換がなされました。

委員会報告では、仲間づくり委員会の鬼塚さんより、年度末までの活動強化と協力要請があり、PRタイムでは、地元企業の若き後継者の活躍とそこから生まれた新商品のご紹介をいただきました。

(文責 前川 浩二)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

五島支部 例会報告

日 時	12月18日(水) 19:00～21:00
会 場	観光ビル はたなか
内 容	忘年例会



10月から始まった消費税増税により予算が厳しい中、観光ビルはたなかさんの協力もあって今年も無事に忘年例会を行うことができました。

なんと、今年の忘年例会の予定にはありませんでしたが、急遽、Yocomotion.M 代表の横山嘉幸さんの新入会員バッジの贈呈が行われました。フォトスタジオとバーを経営する横山さんの顔は地元では広く、参会者との顔合わせから楽しそうな雰囲気でした。

その後、滞りなく会は進行し、恒例の参加者一人一分の今年の反省・来年の目標のスピーチ。会員各々仕事のことや、プライベートのこと、同友会のことなどスピーチしました。同友会の話では、会員拡大のことを話す会員が多く、来年の忘年例会は倍の人数までいけたらいいな・・・と期待を膨らませてみます。

また今年も、今までは丸テーブルを複数並べてグ



ループをつくっていたのですが、「他のグループと会話がしづらい」という意見もあって、人数の少ない五島支部は流しテーブルがいいかもしれないという話となり、それがうまく成功したのか今まで以上に盛り上がった忘年例会になったかと思えます。会員が増えたらまた丸テーブルに戻るかもしれませんが。

例会後、新入会員も含め大勢で二次会へと向かいました。最後は、何次会になるのか・・・

それでは他支部の皆さま、2020年もどうぞ五島支部をよろしくお願いいたします。

(文責 浦上 純人)

青年経営者会 例会報告

日 時	12月16日(月) 19:20～21:20
会 場	いけす割烹ひぐち
内 容	臨時総会・懇親会



現在、青年経営者会は総勢70名を越えています。今年の臨時総会は諫早で開催することになり、初めて長崎市内以外での開催となりました。臨時総会には18名の正会員のほか諫早支部の馬場支部長、石橋さん等にゲストで参加していただきました。山口善也議長の進行のもと役員選考管理委員長の安井さんより2020年度青年経営者会会長の立候補者として長崎浦上支部の山崎晃さんが発表されました。山崎さんの次期会長就任につき審議した結果、満場一致で可決されました。

臨時総会が終わったあとは懇親会にうつり、その席上で山崎次期会長に来期に向けての決意を語っていただきました。また、ゲストで来ていただいていた馬場支部長、石橋さんからも青年経営者会に対してあたたかい言葉をかけていただきました。

昨年度から活動エリアを長崎市内から長崎県全体に



広げたこともあり会員が大幅に増加した中で今年度は県南・県央・県北の3エリア制にして1年目でした。本年度のテーマとして組織固めという課題もあるのですが、まだまだ従来からの会員である長崎浦上支部、長崎出島支部の会員以外の参加率が高くないのが現状です。2021年の九州・沖縄ブロック青年部合同例会を長崎の青年経営者会が担当するのですが、それを成功させるためには県全体で盛り上げていく必要があります。そのためにも青年経営者会の活動をもっと県



央や県北の方々にもアピールして知っていただく努力がこれまで以上に求められていくのではないかと感じました。また、懇親会場でゲスト参加されていた大村支部の宮崎さんに入会申込書を書いていただき、その場で承認されました。この勢いで会員数も伸ばしていきたいと感じた1日でした。

(文責 北川 亮)

第8回 九州・沖縄ブロック事務局研修交流会 参加報告

開催日：12月6・7日(金・土) 場所：佐賀市・唐津市

事務局長 山田 幸司

【1日目】＜事務局のキャリアプランづくり＞

- ・各県の取組状況の違いや、昨年とのメンバーが違うこともあり、「なぜこういう意見が出たのか？」という振り返りも必要となったものの、その世代のキャリアプランについて改めて深く考えるきっかけになったことはよかった。
- ・今回出し合った「そのために何をするか」で、自分が対応できていない内容に確実に取り組めていけるよう研鑽を積むことを決意。
- ・企業訪問の重要性を再認識。他県の事例を参考にシステム化を検討。

【2日目】＜9社による農業体験＞

- ・江川農園さんを訪問。デコボンやハウスみかんを中心とした柑橘系を生産。販売は100%JAに委託。
- ・31歳の江川さん。本年3月に行った例会報告の準



備で、全く危機感を感じていなかったことに気付くも、これまで同友会の二人の仲間から「科学性」「人間性」、同友会で「社会性」をそれぞれ学び、現在は農業、そして地域の未来をしっかりと考えられている姿勢に感銘を受けた。

今回もブロックならではの非常に有意義な研修であり、部屋・車中等で交流できたこともいい機会であった。

事務局次長 峰 圭太

1日目は昨年から継続して検討中の事務局キャリアプランづくりのグループワークを行いました。私のグループで出た意見としては、各項目において具体表現

と抽象表現が混在しているため、用語の意味を統一し、誰もがわかる内容にブラッシュアップしていくことを要望として発表しました。今後は各地同友会で行事や支部、委員会への関り方が異なるため、大枠でのキャリアプラン作成が求められると感じます。



2日目の企業訪問はYamabiko Farmの中原会員。イチゴを栽培しながら今後はにらの栽培で基盤をつくりたいという熱い想いをお聞きしました。事務局から農福連携を行い収穫後の作業を外注化することで中原さんの作物に関わる人を増やし、地域へのブランド化



を目指していったらどうかという提案もあり、他県事務局の視野の広さと経験からなる提案力も学ばせていただきました。今回あらためて自分事としてとらえることの大切さを学ばせていただきましたので、今後の会活動に生かしていきたいと思います。

事務局 田口 友廣

【1日目】

実務をひとつひとつ精査し、意見を交換することで、これから自分自身がどのように取り組まなければいけないかという成長のステップを確認することができました。県によっては企業訪問をするための仕組みづくりをしているなど、学びとなることが多くありました。各県で状況が違うため、取り組み方も変わってくるかと思いますが、長崎においてどのように取り組むことができるのかと考えていきたいです。

【2日目】

企業訪問では、農作業体験を通して世代によって仕事への取り組む姿勢が違うことなどをお話いただきました。また事業拡大にあたり、その意図が社員に伝わっていないとの悩みを聞かせていただくことで、「ビ

ジョン」を共有することの大切さを改めて知ることができました。他県の局員の企業訪問に対する姿勢を知り、大変刺激になるとともに学ばせていただきました。

今回は交流するからこそ、現場に行くからこそ知りえることが多くありました。貴重な機会をいただきありがとうございました。



事務局 森川 健吾

1日目の研修では、会員企業訪問の重要性を改めて認識しました。福岡同友会のヒアリングシートの活用や具体的な目標訪問数の設定などの事例を知ることが

できました。また、会員増強では、鹿児島同友会のプレジデントの活用等の事例を知ることができ、長崎同友会でも生かしていきたいと思いました。また、全体を通して将来目指すべき事務局像をイメージすることができ、そのためにはどんなことを行っていけばいいのか考える良い機会となりました。

2日目の研修では、(株)Y.Kカンパニーを企業訪問させていただき、水菜やホウレン草のビニールハウスの見学や水菜の選定作業を体験させていただきました。本田社長からは、業界の具体的なお話にとどまらず、経営指針書を作成し、経営理念の「笑顔を耕す」ために取り組んでこられた事例を具体的にお話いただき、企業経営への真摯な取組が伝わってきました。企業経営における経営指針策定の大切さを改めて学ばせていただきました。



事務局 大島 小枝

1日目の事務局キャリアプランづくりでは、1年～2年目の方の中で話し合いをしました。その中でヒアリングシートを作成し企業訪問を行っていることや朝礼の内容をメールで配信する県もあり他県の方がどんなことを行っているのか知ることができました。また、自分だけでなく他の方が見ても分かりやすい資料づくりが大事なことや報連相にも段階があることを知り仕事を行うなかで経験年数関係なく周りの方と報連相を行うことが大切なことだと学びました。

2日目の研修では、イチゴを栽培されている中村農園に訪問させていただきイチゴに栄養を届けるためにつるを切る作業の体験をさせていただきました。その後中村さんの報告をお聞きしました。報告の中で特に



印象に残ったのはイチゴの生産者のプロと経営者のプロの話です。生産者の方が亡くなった際にイチゴの生産量下がったという話を聞き1人に頼った経営が危険だと知り誰でも経営ができるように経営指針は必要なものだと感じました。

長崎出島支部 ダイバーシティ委員会 LGBT勉強会 開催報告

開催日：12月4日(水) 18:00～20:00 報告者：Take it!虹 代表者 儀間 由里香 氏



長崎では初めてLGBTの勉強会を行いました。報告者で当事者の儀間さんは明るく、知的な気配り上手な方です。儀間さんの報告を聞くまではLGBTについて誤解をしていることがたくさんありました。

儀間さんはまず、性についての誤解を解いてくれました。異性を好きになるのは当たり前?そうではないんです。普段当たり前と思っていることにもう一度きちんと目を向けることが大切です。儀間さんは就職の面接時にセクハラを受けています。その会社の理解がないから傷つけてしまうんです。私たちが知ること、そし

て社員さんにも理解してもらおう。誰にでも弱い部分はあります。それを他の人が理解して、助け合うのが根っここのダイバーシティ経営なのではないでしょうか?

儀間さんの言葉で強く胸に刺さった言葉があります。LGBTの方は「毎日ほだして小石の上を歩いているような感覚。そこにたまたまガラスの破片があって踏んでケガをしてしまう」私たちが小石やガラスをとってあげることはできるはずですが。私は今後も全力で応援したいと思っています。



(文責 長崎出島支部 菅原 千代枝)

(株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：11月15日(金) 会場：グランドファーストイン佐世保

【参加者の声】

1. (株)村上彫刻 村上 敦子

第31期経営計画発表会開催おめでとうございます。昨年入社された社員の方そして、中堅社員の皆様が、

昨年と比べて格段に成長されているなと思いました。

これも毎年経営計画を実施され目標に向かって日々取り組まれている結果だと思っています。素晴らしいです。今期は課題がたくさんあるとのことですが、アクセス

の皆様でしたらきっと乗り越えられると今日の発表会で思いました。来年を楽しみにしております。お招きいただきありがとうございました。

2. (有)エムズ 川下 眞文

30年以上も会社経営を存続させ、31期の経営計画発表会を開催されたことに感銘・感動しています。3名の退職者が出て経営的にショックを受けられたようですが少数精鋭で無駄を無くす経営で今期の売上目標を伸ばされることを願っています。

3. (有)山崎マーク 山崎 秀平

今まで中核をなしていた社員さんが抜けたあとどうなっているのかと不安と興味がありました。しかし、今の社員さんがしっかり計画をたてて行動しているのを拝見して安心しました。新しいかたちの広告代理店になりそうですね。

4. 着付け教室はいろいろ。 力武 貴子

皆さんそれぞれ目標をしっかり掲げ、素晴らしいと思いました。

また、6回も発表会を続けており尊敬します。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

5. プライアント(株) 永田 香織

「人事面の変動があり大変な時」と皆さん言われましたが、山領さんのお人柄と社員の皆さんの前向きな姿勢でとても絆の強い「ワンチーム」だと思いました。皆さんのやらなければならないことがはっきり伝わったので、それだけ思いが強いので必ず目標達成します！まいぶれの契約店の目標が達成できるよう頑張ってください。今日は勉強させていただきました。ありがとうございました。

会員活躍

長崎新聞 12月5日
大村支部 山口 成美 会員



シュシュ〜っと飲むジュレ

うちの逸品



旬の風味 贈り物にも

おむら夢ファーム・シュシュ 大村市

社長 山口 成美さん(59)



温暖な気候とたっぷりの水で、おいしい果物や野菜が栽培されている大村市。その旬の風味を、気軽に持ち歩ける

さつと食べられるシュシュに詰め込みました。ブドウやマンゴ、レモン、黒田五寸人参、トマトなど全8種類(税別380円)を用意しています。鮮やかな見た目はすべて素材そのものの色、着色料や香料、保存料などは使用していません。お子さまや高齢者にもおすすです。箱詰めもできるので、贈り物などにもぴったりです。
営業時間は午前10時〜午後6時。不定休。大村市弥勒寺町。電話0957・55・52000。(荒木竜樹)

「焼あご」「胡麻鯖」最高賞に 県水産加工振興祭 品評会



坂野水産の「焼あご」(左)と津田水産の「胡麻鯖 昆布仕込み」(県水産加工振興協会提供)

県内の優れた水産加工品を表彰する県水産加工振興祭の品評会で、坂野水産(平戸市)の「焼あご」と津田水産(佐世保市)の干物「胡麻鯖 昆布仕込み」が、農林水産大臣賞を含む最高賞の農林水産大臣賞に選ばれた。

同振興祭は、水産加工品のレベルアップなどを目的に、県と実行委が毎年開き、57回目。品評会は乾製品・ねり製品・塩干・みり

入賞37点を選んだ。

「焼あご」は平戸で取れたトビウオを炭火でじっくりと焼き上げた商品。だしを取った際に味がしっかりしていることなどが評価されたという。「胡麻鯖 昆

布仕込み」は、脂のつた県産のゴマサバを昆布だしに漬け込んだ商品。独自の遠赤外線乾燥製法で、魚の余分な水分だけを飛ばし、ふっくらと仕上げた。

同振興祭の展示即売会は13〜15日、長崎市元船町のおくち広場で開催。県内の水産加工業者が出店するほか、品評会の入賞作の展示と一部商品の販売もある。(白石彩乃)

ほかの主入賞商品と出品者は次の通り。(敬称略)

【水産庁長官賞】▽銀タレ▽山口博松浦市▽のどろ蒲鉾(トレ)入り▽木村蒲鉾(長崎市)▽銀華(蒸しアブリ)▽島原漁業協同組合(島原市)▽金長崎県産▽味付け(フレター)▽五島のフィッシュハム▽浜田水産(五島市)

【県知事賞】▽銀タレ▽大石水産(松浦市)▽紅白かまぼこ▽石橋蒲鉾店(長崎市)▽食べろ▽40▽県漁業協同組合連合会(長崎市)▽フレイヤベース▽若宮水産(若岐市)▽FISH COOK BOOK 骨まで食べるカマス開き▽つえはら(対馬市)

(上) 長崎新聞 12月11日 北松浦支部 坂野 弘樹 会員
(下) 長崎新聞 12月20日 佐世保支部 古川 健 会員

非常用の発電機を寄贈

古川電機製作所、地元公民館に



目録を手にする(左から)小野館長と古川社長
＝佐世保市、西大和町公民館

自動車電気装置部品の販売、修理を手掛ける古川電機製作所(佐世保市)は18日、大和町の本社近くにある西大和町公民館に、災害時の非常用電源となる発電機と、ホワイトボードを寄贈した。

1948年に法人化。自動車関連のほか、電気、機械器具の設置工事や携帯電話販売も展開している。72年から大和町に本社を構え、今年5月には町内で移転新築した。

西大和町公民館は、市指定の避難所ではないが、近くの住民が一時的に避難する

る場所として、独自に環境整備を進めている。寄贈を受けた発電機を活用すれば、一部屋分の電気やエアコンなど必要最低限の電力を賄えるという。

公民館であった贈呈式で、古川健社長(44)から目録を受け取った小野館長(70)は、「非常時の電気をどうにかしたい」と考えていた。住民が安心できる拠点にした。いとお礼を述べた。

古川社長は、「町内への恩返し」の気持ちで寄贈した。今後も地域に根ざした企業として事業に取り組む」と語った。(後藤洋平)

匿名サンタ 留学生へ贈り物



「プレゼントを手に笑顔の留学生」
諫早市、長崎ウエスレヤン大
ヒースチャペル

長崎ウエスレヤン大

諫早市西菜田町の長崎ウエスレヤン大(佐藤快信学長51歳)に今年も「匿名のサンタさん」からクッキーやカップケーキなど焼き菓子の詰め合わせが届いた。同大は19日、日本で最後のクリスマスを迎える留学生37人に、一足早いクリスマスプレゼントとして贈った。「異国の地で頑張る留学生の志を応援したい」と1983年から匿名でクリスマスケーキが届いており、99年からは代目が引き継いでいる。後日、留学生のお礼状がサンタ代理人を通して郵送されるという。

同大のチャペルで佐藤学長は「匿名のサンタさんに思いをよせて、他者への思いやりを忘れていないか、自分の意思と行動に問いていかよ」とあいさつ。佐藤学長と学生にプレゼントを手渡した。中国からの交換留学生、郝樹鑫さん(19)は「友達や先生が優しく、長崎で学べて良かった。プレゼントに心が温まった」と笑顔で話した。(柴田英樹)



無添加調味料や加工食品、波佐見焼などが並ぶ店内ー佐世保市下京町

西海みずき信用組合 旧本店に小売店オープン

佐世保市下京町にあった西海みずき信用組合の旧本店に23日、自然食品や無添加調味料などを販売する店舗がオープンした。組合員らが手掛けた地元産品を並べ、事業拡大につなげる狙いがある。土日も営業し、商店街の賑わいを創出する。

組合員で、障害福祉サービスに用いないケルプソリーの食料事業を手掛ける東後波佐見、品、無農薬野菜などを厳選した町の専従労働者サンタが連日、商品を用意。加工食品のほか、宮内町内で展開する「mizuki」波佐見焼も並べた。商品は季節ごとに「Kava」8831「マルカ」節に応じて入れ替える予定。その京町店として開いた。専従労働者サンタの林田旧本店の1階に入り、赤いひもみ代表取締役社長は「雑居面積は約400平方メートル。オでも安心して買われる商品」カニ食品や、小麦を使を集めた。組合員の商品ア

組合員の地元産品販売

自然食品、波佐見焼も

ビールでできたテナントショップのような形らしい」と語る。本店は、機能集約のため11月に松川町の本部1階に移転した。3階と4階についても活用を検討中。西海みずき信用組合の陣内純英理事は「一等地で販売し、特産品の振興に寄与できる。今後は金鹿だけでなく、地域産品としての役割を担いたい」と話している。

営業時間は午前10時から午後6時半。水曜定休。(後藤孝平)



帽子を寄贈する納所さん(左)と吉村さん

がん患者 脱毛頭部を保護

がん検診の促進や患者との調整などと県も協力と家族の支援などに取り組んでいる。

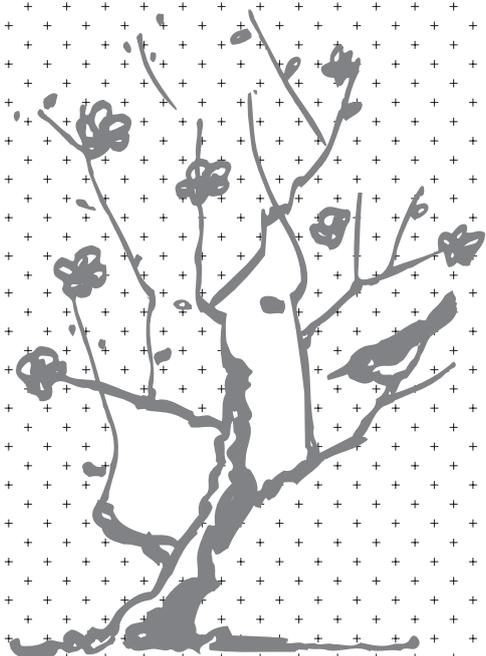
組むNPO法人「葵会」(佐世保市)と、作業服販売の九州ワーク(同)社員が作った。タオル生は20日、がん患者支援に役立ててもらおうと、抗がん剤治療で脱毛した頭部を保護する「タオル帽子」を県に500枚寄贈した。

両者が10月から取り組んでいる「タオル帽子プロジェクト」の一環。医療機関う。

「タオル帽子」県に寄贈

葵会と九州ワーク(佐世保)

同会代表の吉村市代さんと同社取締役の納所孝代さんらが県庁を訪れ、県医療政策課の伊藤幸繁課長に贈呈した。吉村さんは「活動の輪が広がるとうれしい」と述べた。納所さんは「2年前と今月、女性社員をがんで亡くしたと明かし「がんの早期発見、早期治療につながるよう、今後も社員一丸となって取り組んでいきたい」と語った。(清水嘉子)



事務局企業訪問

多良岳中腹の大村市東大村に工場を構える、大村支部 大村製氷(株)の村山 浩一郎さんを訪問させていただきました。



<大村製氷(株)>

1954年に村山さんの祖父が大村市水主町で創業、1956年に法人化、1991年に現在の大村市東大村に工場を移しました。

主に食用の水を製造し、商品はスーパーでよく目にするかち割り氷や、大きなサイズの板氷・角氷があります。角氷はかき氷にも使用される水です。

大村製氷では、多良岳の湧き水で製氷しています。多良岳の湧き水は軟水で口当たりがまろやかで不純物が少ないため、透明度の高い氷ができあがります。

<入社まで>

大村市で生まれ育った村山さんは、高校卒業後に大阪に進学、卒業後に化学薬品のメーカーに就職します。経営をしたいという夢はありましたが、家業を継ぐつもりはありませんでした。しかし友人の結婚式で帰省した時に、父である社長に「そろそろどうするか考えておけよ」と言われて、自分が会社を継ぐという選択肢もあることに気づき、自分が小さいころから接していた「氷」を仕事とすることに魅力を感じ、家業を継ぐことを決意しました。

<同友会との出会い>

大村に戻ってしばらく経つ頃、経営の悩みをどうにかしたいと思い同友会に入会、入会后すぐに経営指針実践セミナーに参加します。理念や経営計画は大事だと感じていたものの、取り組みず先延ばしにしていたため、自身を追い込むつもりでの参加でした。

セミナーに参加し「労使見解」を学び、そこで社員はパートナーであるという考え方、それが何十年も前にあったということに驚き、また学ぶことで社員への接し方や、社員から意見を引き出し、主体的に動いてもらうにはどうしたらいいかと考えるようになりました。

また社員教育の重要性を感じ、自社でも社員教育を行うことを決めました。これまでは仕事を現場で見て覚えてもらっていましたが、求めるような結果が出ず、怒ることもありました。しかし原因は明確な指示ができていないからでした。そこできちんと会社が求めていることを明文化し、伝えていこうと決めました。また会社のルールや社会人としてのマナーについても改めて確認し共有するための勉強会を開催することを決めました。

こうした取り組みを積み重ね、大村製氷の社員はちゃんとしているとよそからも評価され、もし社員が大村製氷を離れることがあっても、新しい職場で活躍できるような人材になることを目指していますと村山さんは話されました。

<今後の展望>

大村製氷では食用の水以外に、観賞用の氷も製造しています。祖父の時代に比べ冷蔵庫の登場で氷の需要はどんどん少なくなってきました。そこで氷を食べるだけでなく楽しんでもらえるようにと現社長である村山さんのお父様が氷の中に花などを入れて凍らせる「花氷」を製造するようになりました。村山さんも氷という商材には広がりがある考え、これまで取り組んできた「食べる」「見る」に加えて「遊ぶ」ことができる氷を提供し、多くの人に氷の良さを知ってもらいたいと語りました。

企業訪問では実際に氷を製造する工程を見学し、今まで目にしてきた氷には工夫や手間がかかっていたことを学ばせていただきました。また村山さんが同友会活動を通じて「労使見解」を学び、それを自社において取り組むという「学び」そして「実践」する姿目の当たりにさせていただきました。

これからの村山さんのご活躍を祈念いたします。今回はお忙しいところお時間いただきありがとうございました。



(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです <12月入会>

(敬称略)

<入会>

支部名	長崎浦上支部		
氏名	山口 真之		
企業名	(株)ディープリंक		
役職名	代表取締役社長		
企業住所	〒852-8107 長崎市浜口町8-9		
T E L	080-4439-4383		F A X
業種	WEBコンサルタント、ホームページ制作業		
企業PR	集客型ホームページ制作、WEBコンサルティング、SEO対策、Googleマップ対策など長崎で1番結果にこだわるWEBマーケティング会社です。		
スポンサー	同友会事務局		

支部名	佐世保支部		
氏名	横山 聖代		
企業名	行政書士 横山聖代事務所		
役職名	代表者		
企業住所	〒859-3702 東彼杵郡波佐見町湯無田郷 1884-1		
T E L	080-1762-3085		F A X 0956-59-5193
業種	許認可、相続(遺言書含む)、車関係の車庫証明・名義変更		
企業PR	・建設業許可、経審 ・産業廃棄物収集運搬業許可 ・会計記帳 ・会社設立 ・相続手続サポート ・遺言書作成		
スポンサー	倉科 聡一郎		

支部名	長崎出島支部		
氏名	岩永 孝照		
企業名	(株)さつき		
役職名	代表取締役		
企業住所	〒851-0101 長崎市古賀町110-1		
T E L	095-839-3869		F A X 095-839-3141
業種	介護事業		
企業PR	東長崎と長崎市本原町の市内2ヶ所で訪問介護と介護タクシーをしております。高齢者だけでなく、障がいをもった利用者の対応も行っております。		
スポンサー	山口 絵理		

支部名	北松浦支部		
氏名	今田 圭二		
企業名	松浦物流サービス		
役職名	代表者		
企業住所	〒859-4507 松浦市志佐町庄野免249-2		
T E L	0956-72-2205		F A X 0956-72-1281
業種	軽運送		
企業PR	大手運送会社の中継点として松浦市で営業しています。個別のお荷物から引越しまで、愛情と一緒に荷物をお届けします。		
スポンサー	井手 眞悟		

支部名	大村支部		
氏名	越智 光海		
企業名	アクアクロス		
役職名	代表者		
企業住所	〒856-0835 大村市久原1丁目603-1		
T E L	0957-42-4841		F A X 0957-42-4841
業種	配管工(プラント配管)		
スポンサー	宮崎 洋輔		

支部名	五島支部		
氏名	横山 嘉幸		
企業名	Yocomotion.M		
役職名	代表者		
企業住所	〒853-0014 五島市三尾野2-1-12		
T E L	090-4779-0037		F A X
業種	カメラ・映像制作・飲食店・ブライダルプランナー・イベントプロデュース		
企業PR	ブライダル撮影及びプロデュース。		
スポンサー	谷川 喜一		

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

1月理事会 報告

1月8日(水) つくば倶楽部 出席23名 欠席4名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。振り返りますと、昨年の2月は全研で盛り上がりよい雰囲気だったと思います。園田大村市長が「空気を変える」「雰囲気を変える」とよく言われますが、長崎同友会の雰囲気も変えたいと思います。また仲間づくりについても会員数を増やして活発化することが同友会にとって大切だと思います。昨年の三役会では決めた目標を達成しようと言いました。やり遂げることで生まれるチームワーク・連帯感もあると思います。今年は目標を達成する同友会にしたいと思います。よろしくお祈りします。

仲間づくりについて

- 1) 入会・交代・退会の承認について
 - 2名の入会、3名の交代、1名の企業変更を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
 - ・ 金井代表理事 -
 - 10年連続で会員数は増加してきましたが、しかし切羽詰まっている状況です。私も1人でも2人でもと思って入会申込書を渡しています。10年連続が途切れたらまた1からです。最高会勢で次年度を迎えたいと思いますのでよろしくお祈りします。

協議・承認事項

- 1) 来期に向けて
 - ① 活動方針案について - 金井代表理事
 - 活動方針案を承認
 - ② 役員人事の承認について - 金井代表理事
 - 委員長及び監事人事を承認。1月24日(金)の活動方針締切、来月からの新理事内定者の理事会参加を確認
 - ③ 予算案について - 上野財務委員長(代理 山田事務局長)
 - ・ 各委員会からの申請について
 - 各委員会からの予算申請についてすべて差戻しとすることを確認。どうしても必要ならば詳細な理由書を1月24日(金)までに提出願います
 - ④ 定時総会について - 山田事務局長
 - ・ タイムスケジュール案について
 - ・ 会費について
 - ・ 参加目標案

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
受付含会員数	111	115	101	87	67	183	39	32	735
目 標	30	30	38	28	22	46	10	7	211
目標/会員数(%)	27.0	26.1	37.6	32.2	32.8	25.1	25.6	21.9	28.7

- ・ 記念講演 テーマ(案)
- ・ 議案書への名刺広告掲載募集について

→ 上記について承認

- ⑤ 第27回 経営フォーラムについて - 田中支部長
 - ① 記念講演 講師
 - ② 分科会 大テーマと概要
 → 上記提案を承認

報告・連絡事項

- 1) 12月 県本部・支部・委員会等の活動状況について

例会	1、各支部11月例会の「評価・検証」報告 2、第5次ビジョン進捗状況アンケートについて 3、来期について 来期より県例会委員長を交代する旨を報告。 各支部の次期委員長を確認。 2020年度の例会開催日の確認。 【大村支部】第3木曜、【諫早支部】第3水曜、【島原支部】第3火曜(候補)、【佐世保支部】第3金曜(候補) 他の支部は未定及び未確認。
経労	(今回の活動) 2-1 「経営者塾」の開催 ⇒ 各支部委員長に協力要請済 ・ 大村支部 ⇒ 来年2月 経営者のための財務講座 開催予定 2-2 「経営指針実践セミナー」の開催 ⇒ 12/21 第6回開催 参加者 7名 / 申込み 14名 + ゲスト 1名 12/18 島原支部第3回開催 参加者 9名 / 申込み 13名 2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化 ※ 支部での例会報告 ・ 来年2月 出島支部 宇土会員 報告 ⇒ 経営労働委員会の活動報告を予定 2-4 その他 第5次ビジョン達成に向けて ・ アンケート実施 → e.doyu にて配信 + 各支部委員長が100%回収を目指す
共育	3月に新入社員合同研修第三回予定 5次ビジョンの7の柱 7行政、学校、他団体、地域に認められる同友会になっている。 を達成するために、4月に講演会実施を検討中
政策	■ 12/3(火) 諫早支部政策委員会との打ち合わせ @テラスフィールド 2020年1月23日(木)開催の諫早同友会1月例会「まちづくりサミット in いさはや〜自分たちで『まち』をうごかす」にて大村市の条例制定後のまちづくりに関する変化について報告する。その内容についての協議を行った。
情報広報	12月25日(水) 19時00分〜 同友会事務局 出席者5名 1. 広報誌 編集会議 2. ホームページについて 3. e.doyu 利用 ・ 11月アクセス状況は62%に回復 ・ 各支部 e.doyu 勉強会について意見交換

	<ul style="list-style-type: none"> ・e.doyuをスマートフォンのホーム画面に登録(ショートカット)フォーマット確認 <p>4. その他・情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度活動方針(案)についての意見交換 ・第5次ビジョン進捗状況アンケートについて ・名簿アプリ化の検討
仲間づくり	<p>今年度最後の仲間づくりの日に向け準備を進めている。各支部の進捗状況についてはグループライン等を活用して全体として取り組んでいけるように配慮したい。</p> <p>2月18日の仲間づくりの日に向け、更なる声掛けをお願いします。</p>
ビジョン	<p>“第5次ビジョン”と“7つの柱”進捗アンケートフォームを、各県委員長宛にメール送信しています。</p> <p>※1月24日(金)提出期日となります。ご理解ご協力をお願い致します。</p>
ダイバーシティ	<p>12月23日に委員会と忘年会を第13回例会にて報告いただいた野副さんのお店(登利亭)で開催いたしました。出席者10名</p> <p>第13回例会の振り返りで、ゲストの参加がなかったことや目標人数に達していないなど反省がありました。今後の活動として長崎大学の障がい支援室との連携を行っていく予定</p> <p>来年2月に長崎大学の発達障害の生徒さんとの交流会など検討</p> <p>浦上2月例会 ダイバーシティ委員会担当例会 諫早2月例会 貞松さん(福祉事業所) 大村2月例会 野副さん(外国人雇用) 北川さん、中村副代表がマリア園を訪問し、クリスマスプレゼントの贈呈をおこなった。 LGBTの当事者との交流会も検討中。</p>
共同求人	<p>12/7 NAGASAKIしごと未来博2019開催。長崎県最大の就活イベントに、長崎同友会から12社(ベネックス・メモリード・チョコレート醬油・谷川建設・リコー・ホテルニュー長崎・南高愛隣会・L T U・昭和堂・山崎マーク・智翔館・プライアント)、うち県共同求人委員会から2社(L T U・プライアント)が参加。参加学生数1,000名、参加企業数110社で大いに盛り上がった。合同企業説明会ではなく、東京ビックサイトで開催されるようなブース出店の展示会のような雰囲気。学生も学校から貸し切りバスで到着するなど、主催者側は確実な動員に努めていた。当該イベント参加により、自社の強みを洗い出し、いかに学生に刺さる会社案内が</p>

	<p>できるかのトレーニングとなり、学生の存在を掛け算に、自社を見つめ直す良い機会となる。来年は共同求人委員会の推奨イベントとして参加啓蒙をする予定。</p>
青年経営者会	<p>12/11役員会。11月佐世保例会、全国青年部連絡会議、宮崎青年部設立総会の感想報告、12月臨時総会への参加状況についてなど、九州沖縄合同例会について議論されました。</p> <p>12/16に臨時総会21名参加、青年経営者会の次期会長に山崎晃氏が承認されました。また大村支部の宮崎洋輔さんが入会され、現在71名となりました。</p> <p>12/23に浦上養育院、明星園、マリア園の3園を訪問。クリスマス会のプレゼント贈呈、ハタ上げ大会の案内等を行いました。</p>
事務局	<p>12/6・7 九州・沖縄ブロック事務局研修交流会に参加させていただきありがとうございました。</p> <p>【1日目】事務局のキャリアプラン作成 【2日目】企業訪問(農業体験)</p>

2) 賀詞交歓会について-山田事務局長

- ・参加状況
 - ・司会等の役割について
 - ・委員会アピール開始時について
 - ・理事各位への協力依頼事項
 - ・来賓の出欠状況
- 上記を確認

(金井代表理事より補足)

賀詞交歓会では議員の方ですとか、普段来られない方が多く出席されます。同友会をアピールするチャンスです。理事が中心に委員会別アピールをしっかり聞くように促すなどご協力をお願いします。

- ## 3) 例会について(更なる充実をめざして)-本多例会委員長
- グループ発表用紙について先日の委員会で確認をしましたら、概ね好評でした。どういう風にまとめればよいか分かりやすいということでした。グループ長が慣れていない方については、グループを決めるときにサポートする方を決めるか、理事の皆さんは率先してフォローをお願いします。例会においては報告以外にも、委員会報告や企業PRや翌月の例会報告者の紹介などの仕掛けを行い、例会に多く参加してもらえよう取り組みをお願いします。

※次回開催 2月6日(木) 19時 つくば倶楽部

会員動向

- 企業住所等変更 **溝越 正 会員** (長崎浦上支部) 新住所: 〒854-0022 諫早市幸町41-3 **出口 安紀 会員** (大村支部) 新会社名: (株)グリーンテック九州

会員数(1月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	134	130	125	100	90	200	45	38	900
期首	113	112	97	91	68	181	42	31	735
現在	111	115	101	87	67	181	39	32	733

退会者(敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
唐津 大作	(有)バイオベジ	島原	2019年8月
今里 紀子	(株)M・K・G 就労支援事業所Link	佐世保	2018年7月
西川 末則	西川ラジコン映像企画	佐世保	2018年9月

2月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 2月20日(木) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ 継承3年を経て次の一手！
目指す経営戦略
報 告 者 (有)山崎マーク 代表取締役社長
山崎 秀平 会員(佐世保支部)

●長崎出島支部

日 時 2月25日(火) 18:00～20:30
会 場 ホテルニュー長崎
テ ー マ 人を生かす経営
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員
宇土 敏郎 会員(大村支部)

●大村支部

日 時 2月20日(木) 18:30～21:00
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ ひろがる無限の可能性
～外国人技能実習生を受け入れてみませんか？～
報 告 者 (株)登利亭 代表取締役
野副 智徳 会員(諫早支部)

今回は実際に現地へ面接へ行き、有能な人材確保に取り組まれている、ふれあい事業協同組合の野副さんをお招きし、外国人技能実習生受入機関のシステムやサポートについて報告いただくと共に、制度や仕組み・受け入れてからのメリット・デメリットなど報告していただきます。外国人技能実習生の秘めた戦力とそこからビジネスに広がる可能性について学びましょう。

●諫早支部・青年経営者会(合同例会)

日 時 2月20日(木) 18:30～21:00
会 場 ロイヤルベルズ諫早
テ ー マ Diversity Management
～ダイバーシティ マネジメント～
報 告 者 (福)ながよ光彩会 理事 統括施設長
貞松 徹 会員(長崎出島支部)

グループの外国人雇用、障がい者雇用、前科者の雇用と、その受け入れに向けた組織マネジメントについて報告いたします。

●島原支部

日 時 2月20日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ ー マ 調整中
報 告 者 (有)菅原産業 取締役
菅原 千代枝 会員(長崎出島支部)
(有)東友建設 営業部長
寺尾 昌晃 会員(諫早支部)

●佐世保支部

日 時 2月18日(火) 19:00～21:00
会 場 avanti
テ ー マ 天職に出会えて～楽しむ営業～
報 告 者 (株)笑心一(エコイチ) 代表取締役
前田 忠信 会員

2003年に佐世保市内の大手廃棄物処理の企業に入社をきっかけに人生の早い段階で天職に巡り合い、起業に至るまで同じ職業を転々とし様々な経験や知識を習得して2016年に開業、現在4年目を迎えております。起業に至るまでには時間がかかりましたがその経験と知識を自信をもってお客様に提供し、自分自身も楽しみながらお客様の問題の解決に取り組んでいます。開業してほとんど営業活動をしたことがありませんが同友会活動を通して会員の方や紹介などでこの4年間を支えていただいております。営業活動とは様々な人に出会って自分を知っていただく活動が営業に繋がっていて、攻めずに自分自身楽しむことが営業活動になっています。

●北松浦支部

日 時 2月25日(火) 18:30～20:30
会 場 松浦シティホテル
テ ー マ 調整中
報 告 者 (株)ライティア
川久保 稔美 氏

●五島支部

日 時 2月19日(水) 18:30～21:00
会 場 調整中
テ ー マ フリーディスカッション

2月例会はテーマを決めたくうえで、フリーディスカッションを行います。みなさま、何かひとつでも自社に持ち帰り、即実践できるよう共に学びましょう。

書籍の紹介

購入を希望される場合は、同友会事務局(095-822-0680)までご連絡をお願いします。



企業変革支援プログラム ステップ1

A4判 64ページ / 頒価 1,000円

- ・企業変革支援プログラムとは何か
- ・入門編「ステップ1」と本編「ステップ2」
- ・企業変革支援プログラムの運用 全体像
- ・プログラムの運用と同友会運動
- ・プログラムの運用とe.doyuによるデータ分析



企業変革支援プログラム ステップ2

A4判 170ページ / 頒価 3,000円

「企業変革支援プログラム・ステップ2」は、ステップ1でのセルフアセスメントによるレベルを上げるための気づきとヒントが盛り込まれています。各社の経営課題を浮き彫りにし、経営指針文化や見直しのためにご活用ください。